

「大手に負けるな 見せたい 地元業者の力」

まちを支えるあなたのチカラ

しばじえね

SHIBAYAMA
GENERATION #10



商業男子
石田 記一 さん
(小池9)

実家の旅行会社で働く石田さん。小学生のころから家業を継ぐことを考えており、作文にも「バスの運転手になりたい」と書いていたそう。専門学校の先生にも「天職」だとお墨付きをもらった接客では、持ち前の明るい笑顔と話術でお客様との交流を大切にしている。

そんな石田さんの目標は、日本で初めてバスにビールサーバーや通信カラオケを導入した父のように、独自のバスを作ること。「他ではまねできないアイデアで、この時代を勝ち抜いていきたいですね」と語った。今、町に必要だと思うのは、多くの人が集まる目玉施設。人の流れが生み出せば、町の活性化にもつながる。もちろん、地元商工業者もがんばらなければならぬと考えている。芝山は小さい町だが、空港という地の利があり、何より地元に着着した強い仲間意識がある。仲間たちと一致団結し、大手業者に負けない商工業業を目指したい。地元を愛し、人々との触れ合いを大切にすることで、心を支える大きなチカラ。

いしだ・のりかず
◎Profile
■年齢/35歳 ■職業/旅行業(紅仙観光株)
■趣味/旅行、スノーボード ■特技/話術 ■好きな言葉/夢はでっかくふかく

あとがき

◆雪に悩まされた2月。雪の中で行われた行事もありました。一昔前に比べて、雪が降る日が多くなったように思います。温暖化や猛暑だけでなく、冬にも環境の変化が表れているように感じます。◆学生にとっては卒業を間近に控えた時期。別れが近づく寂しさや新しい環境への期待など、さまざまな気持ちを抱えているのではないのでしょうか。友達や先生と母校で過ごす時間もあとわずか。だからこそ、その時間を大切にしてください。◆草木が芽吹き、やわらかな風が吹く頃には、たくさんの方の新しい生活が始まります。もうすぐ広報生活も丸4年。変化があるかはわかりませんが、与えられている時間をきちんと過ごしたいと思っています。(一)

◆突然ですが、皆さん、季節のイメージカラーはありますか？私の想像ですが、冬の色は雪の「白」。今年は各地に降り注いだ白い雪が、大きな影響を与えました。一方でこれから迎える春を想像すると、新芽の「緑」、桜の「ピンク」、菜の花の「黄」など、さまざまな色を思い浮かべることが出来ます。たくさんの色で溢れる彩の季節、そんな春が今からとても待ち遠しいです。◆3月は町内でも卒業式が行われます。通い慣れた思い出の学校を離れ、春から新生活をスタートさせる方も多はず。そしてこれから起こる楽しいことも、辛いことも、要するに「人生、いろいろ」。まずは、自分の持っている色を大切にしたいところです。◆季節の変わり目です。お体にはどうぞお気をつけください。(一)